

利用者の皆様へ



図書館からのお知らせ

1. 9月の開館案内

9月の開館

		開館時間	閉館時間
1	水		
2	木	9:10~17:50	11:30~12:30
3	金		
4	土	10:30~15:30	
6	月		
7	火		
8	水	9:10~17:50	11:30~12:30
9	木		
10	金		
11	土	10:30~15:30	
13	月		
14	火	9:10~17:50	11:30~12:30
15	水		
16	木	9:10~16:50	閉館なし
17	金		
18	土	10:30~15:30	
21	火		
22	水	9:10~17:50	11:30~12:30
24	金		
25	土	10:30~15:30	
27	月		
28	火	9:10~17:50	11:30~12:30
29	水		
30	木		

(注:記載のない曜日は閉館です)

直木賞受賞作

・「テスカトリポカ」佐藤究(著)

メキシコのカルテルに君臨した麻薬密売人のバルミロ・カサソラは、対立組織との抗争の果てにメキシコから逃走し、潜伏先のジャカルタで日本人の臓器ブローカーと出会う。



・「星落ちて、なお」澤田瞳子(著)



不世出の絵師、河鍋暁斎が死んだ。河鍋一門の行末は残された娘、とよの双肩にかかっている——。父の影に翻弄され、激動の時代を生き抜いた女絵師の一代記。

2. 新着図書の紹介

沢山の新着図書から、図書館の一押しを紹介します。

・「あたらしいマナー・エチケット事典」全4巻

大西一成(監修)

身の回り、街中などいろいろな場所でのマナーについて、状況ごとに具体的な例を漫画で展開し、考える教材として最適! すぐに活用できるものばかりです。



・「世界の国旗弁当」青木ゆり子(著)



220カ国・地域それぞれを代表する食材を使った「国旗」のお弁当で、世界の食文化と郷土料理を楽しく学べる一冊。わかりやすいビジュアルとともに、実際に作ってみることで、世界の多様な食文化を幅広い世代により親しみやすく理解していただこうを目指しています。

・「ぼく自身のノオト」ヒュー・プレイサー(著)

青年の普遍的思索。500万部突破の世界的名著『ぼく自身のノオト』を、初版時の瑞々しい翻訳で新装復刻。青年期の心をめぐる、生き方を確立する方法をさがし求める心理エッセイ。



3. 第163回芥川賞・直木賞受賞作紹介

芥川賞受賞作

・「貝に続く場所にて」石沢麻依(著)



コロナ禍が影を落とす異国の街に、9年前の光景が重なり合う。ドイツの学術都市に暮らす私の元に、震災で行方不明になったはずの友人が現れる。人と場所の記憶に向かい合い、静謐な祈りを込めて描く鎮魂の物語。

・「彼岸花が咲く島」李琴峰(著)

その島では〈ニホン語〉と〈女語〉が話されていた……。記憶を失くした少女が流れ着いたのは、【ノロ】が統治し、男女が違う言葉を学ぶ島だった。不思議な世界、読む愉悦に満ちた中編小説。



直木賞:作家直木三十五の名を記念した大衆文学の新人賞
芥川賞:作家芥川龍之介の名を記念した純文学の新人賞

出典:ジャパンナレッジlib:日本大百科全書